



第2回意見交換会

2021年1月16日（土）に、パートナーズ・ボイス・プロジェクト第2回意見交換会をオンラインで実施しました。参加者は事務局、理事を含めた計14名。地方の事例や体験談など、いろいろなお話を聞くことができました。

VOICE 進歩報告・事例紹介

1. 仙台・八木山テラス（菅原さん）

東北での活動の足掛かりとして、仙台市八木山にある「八木山テラス」の緑地保全活動に個人として参加。地元在住のグリーンセイバーの参加を促し、そこでネットワークを作り、今後の展開につなげることを考えている。

2. オンライン育苗研究会（林さん）

各地域の在来の樹木や山野草を育てて、年4回程度、オンラインで情報共有、意見交換を行う。育てた植物については、庭や地域の里山や森に移植するなどして、里山や自然の再生につなげる。その中で得た意見や気づきを、今後の里山活動にも生かしたい。

3. グリーンセイバーキッズ

（陣野さん、岡本さん）

子どもワクワクプロジェクトのようなプログラム型の単発イベントではなく、子どもたちが自由に遊べる場所としての里山を、定期的に公開する。何をするかは子どもたちが決めて、スタッフが見守るかたち。一緒にやりたいという方が6人ぐらい手をあげてくれた。

4. 和歌山フィールドの紹介（小久保さん）

和歌山県田辺市平瀬の人工林で20年前から年4回、2泊3日でヒノキ林の間伐や植生調査などをおこなっている。有志で建てたログハウス（約15名宿泊可能）が拠点。昨年、ログハウスの隣接地（約450坪）を山本顧問が購入。この土地の活用を模索する中で、周辺住民とのつながりもできたので、新たな活動を準備したいと思っている。

5. 奈良・御杖村フィールドの紹介（大川さん）

地権者である社会福祉法人の依頼で、約26haの山林の保全活動を年3回実施している。下草刈り、鹿よけネットの補修、植生調査などが当初の依頼。AIG生命と共同で植林した400本の苗木が鹿の食害で100本以下になってしまったので、そのケアが主な活動。30人程度泊まれるログハウスを拠点に、標高700m～930mの豊かな自然を楽しめる。

6. 里山を楽しもう（村山さん）

三輪で活動しているが、生活の中で里山を利用することが必要だと思うようになり、「食」をテーマに里山利用を進めたいと考えている。野草とキノコの調査、キノコ栽培、野草やキノコの観察会、「食べる会」などを実施し、近隣の人にも参加してもらいたい。

7. オンラインショップ 里山のめぐみ

TA MA TE BA KO（川端さん）

ヤフーショップの中にストアを開店。自然素材、工芸品、クラフト素材、山野草の苗、里山関連グッズ、テキストなどを販売している。地域で眠っている民芸品に光を当てたり、間伐材の薪など、フィールドから出るものも商品化もできたらと考えている。

8. 市民参加による「四季の生物観察」 (GSからの情報提供)

気象庁が「四季の生物観察」をやめるにあたって、市民参加による観察支援を募っている。GSも参加したら面白いのではないか。

VOICE 意見交換

和歌山、奈良・御杖村の宿泊施設を活用して、観察会プラス勉強会のような企画を実現できないか。普段、触れられない関西の自然に興味のあるGSは多いと思う。

熊野古道や温泉、おいしいそばなど、和歌山の魅力を活用できるのではないか。

八木山テラスでの活動は、雪が解けてから本格的に始める。仙台中心部から車で10分ぐらい、地下鉄終着駅から徒歩10分ぐらいなので、参加しやすい。

八木山テラスにも拠点としてログハウスを建てられたらと思っているが、費用などはどう捻出したか。

有志の出資で。作業は会員の中に中村さんという有名なログビルダーがいて、そ

の人を中心に、他の会員がボランティアとして参加した。

オンライン育苗研修に参加してみたい。どのような種類を育てるのか。

在来種を考えているが、どの種類を育てるか、というところから話し合っていきたい。

京都では、準絶滅危惧種のフジバカマを育てようという動きが盛んで、私も育てている。西洋ハーブは人気だが、和製ハーブにも注目してほしい。

アサギマダラの中継地としてフジバカマやヒヨドリバナを植えようという活動も増えている。

和製ハーブの製品をTAMATEBAKOでも販売したい。

グリーンセイバーキッズは、学校行事が多い4月をはずして、5月か6月に始めたい。

火起こしや秘密基地など、普段できないようなことを何でもやっていいといわれたら、参加したい人は多いと思う。

GSの勉強会として「ひとり一木」「フェノロジー勉強会」も実施している。昨年からコロナの影響でオンラインになった

ので、全国から参加してほしい。

育苗は2、3月には参加者を募集したいと考えている。メルマガ、MLなどで情報を探すので、参加してほしい。

VOICE 今後の展開

パートナーズ・ボイス・プロジェクトは、今後も会員の皆さんと活動や運営について話し合う場として継続し、年2、3回のペースで意見交換会を実施する予定です。詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせします。進行中のプロジェクトは、意見交換会の内容をふまえて、情報共有しながら進めていきますので、活動に参加したい、役立ちそうな情報や人脈に心当たりがあるという方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

ホームページ



<https://www.shu.or.jp/partnersvoice>